



いつまで通えばいいの？



A. 必要な間だけ、だね。

放課後等デイサービスは、学校に行っている間、原則として18歳まで利用できるんだ。ただ12年間ずーっと利用しなくちゃいけないわけではないよ。もう必要ないかな、と思うことができたなら、利用を止めても差し支えないんだ。

世の中には、ひとりとして同じ人はいないよ。みんなそれぞれ、いろいろな個性を持って生きていて、世界にたった一人だけの君、なんだ。そして、その個性はいろいろな方向に向かっているよ。

人とすぐに打ち解けられる方向に向いていると、人付き合いは嫌じゃないかもしれない。反対に打ち解けにくい方向に向いている人もいるよ。人との付き合いに困るよね。

こんにちは、とか、ありがとう、って言いたいんだけど、恥ずかしすぎるという方向に向く人もいる。伝えたい気持ちはいっぱいあるのに、どうしても伝えられない方向に向いてしまう。人と話すことに困ってしまうんだね。

これをやりたい、と思うと、どうしてもやらなくては気が済まない方向に向く人もいるよ。とにかく自分がいちばんでないとだめになってしまって、なにがなんでもやりたいんだね。順番やルールを守る、ということに困ってしまうんだ。

いろいろなことが気になって仕方がない、という方向に向かう人もいるよ。とてもたくさんの方に興味を持ってしまって、どんどん新しいことに夢中になってしまうんだ。じっと座っていることに困るんだね。

なにか解らないけどザワザワした気持ちになってしまう、という方向に向かう人もいるよ。それが心地よくなってイライラしてしまい、自分や人に対して行動になって出てしまったりする。自分の行動に困ってしまうんだ。

概念が解らない、という方向に向いてしまう人もいるね。
時間や立場、場所などTPOという概念が理解できなくて、そのときにそぐわないことをやったり
言ったりしてしまうことがある。
社会生活に困ってしまう。

“なに”をやってもいいよ、と言われて、“なに”が解らない方向に向く人もいるね。
経験が少ないのに、いっぱい選択肢がありすぎて選べなくなってしまう。
自分で決めて“なに”かをする、ということに困ってしまうんだね。

ここに挙げたのはほんの一例だけど、こういったさまざまな困り感を解消していくために療育というものがあるんだ。
放課後等デイサービスでは、個別の療育と集団での行動を通して、困り感を自分でコントロール
していく力を養っていくんだ。
そのためにいろいろなプログラムが利用でき、それに取り組める空間が用意されているんだ。

これらの困りごとが少なくなって、学校の友達と楽しく遊べたり、好きなことに集中できたり、自分で
選ぶことができたりすると素敵だね。
こんなふうに、地域の中でひとりで過ごせるようになれば、もう卒業かもしれない。
放課後等デイサービスのスタッフさんたちは、利用しているみんながそうなれるようにいろいろな
工夫をして関わってくれているんだ。

地域の中で、しっかりと根を下ろして楽しく自分らしい生活が出来るようになってほしい、というのが
願いだよ。
みんながその力を持てたのなら、残念だなという気持ちはあっても巣立っていってくれなきゃい
けないね。
放課後等デイサービスなどの児童福祉は、いつの時も子どもにとって“過去にあったもの”であ
りたいと願っているよ。

《MENU》

[《特例子会社ってというのは？》](#)

[《事業所を変えてもいいの？》](#)

2023-01-16 掲載